

スパーズ・ジャパン 2009-10シーズン 年次総会 活動報告補足

1. 2009-10シーズンのスパーズ・ジャパンの団体活動について

i プレシーズンマッチ@香港

スパーズのアジア・ツアー(北京、香港)で始まった2009-10シーズンは、香港のサポーターズクラブが主幹となり中国、台湾、シンガポール、オーストラリア、日本、そして英国からの各サポーターが香港に集結。盛大な連夜の宴が催され、アジアのスパーズ・ファンであることへの誇りと結束を高めるプライスレスな体験をしました。

今後、アジア圏でのプレシーズンマッチが行われた際、はたまたクラブ・ワールドカップにスパーズが出場した際には、今回同様にアジアのスパーズ・ファンの結束が発揮されることとなります。過去数シーズンに渡りインターネットを通じて交流を深め、個人レベルでは東京⇄香港での交流をとっていましたが、今回のように団体単位での交流が行えたことは次回の大イベントに向けた素晴らしい一歩になったはずです。

今回、香港ツアーにご参加頂いたスパーズ・ジャパン会員の皆様に深くお礼を申し上げますと共に、次回、アジアの仲間とスパーズを応援する機会が訪れた際にはより多くのジャパンのスパーズ・ファンが駆けつけてくれることを願っています。

ii プレゼントクイズについて

参加者が少なく固定化され、経費分配に偏りが出るため、今後は実施を見直ししていきます。

iii フットサル交流戦

今シーズンからマンチェスター・ユナイテッド東京が加わり、アーセナル、リバプールと4団体でフットサル交流戦を行っています。スパーズ・ジャパンはまずまずの成績を収めていますが、若さと女プレイヤーが他団体に比べて劣っており、新メンバーを随時募集しています。

iv その他、イベントについて

リーグ4位の好成績で終えた躍進著しいシーズンでしたが、現地アーリーキック・オフの試合がやや少なめであったこと、その数少ないアーリーキック・オフの試合がイベント開催の準備を行い難いカップ戦、または日本で中継カードにならなかったために、観戦イベントの回数は少なかったと思います。

新シーズンは、初めてのチャンピオンズリーグの舞台に立つこともあり、できるだけ早めにイベントを告知し、より多くのファンが集まれる観戦イベントを実施したいと思います。

なお、スパーズ・ジャパンは活動単位を日本国内に置いており、地理的に東京都内で行われるイベントへの参加が難しいスパーズ・ジャパン会員が多いため、会員参加イベントに団体の経費を組むことは原則行わず、イベントの参加者から徴収する参加費によりイベントの経費を負担することとしています。

2. 2009-10シーズンのスパーズ・ジャパンの会員特典について

i オリジナル・グッズの作成

スパーズ・ジャパンは公式サポーターズクラブとしてトッテナム・ホットスパーFCのクレスト(ロゴ)を会員向けグッズに使用することをクラブから認められています。但し、営利目的での利用・グッズ販売は認められておりません。

A メンバーズ・カード

2009年7月末までに入会したスパーズ・ジャパン会員にスパーズ・ジャパン制作のオリジナル・メンバーズ・カードを会員特典として贈呈しました。特に新規メンバーはこの特典により、スパーズ・ジャパンの一員であるという意識を強めることができたようです。

B オリジナルTシャツ

8月中に募集を行い、購入希望者自己負担でオリジナルTシャツの作成を行いました。一定ロット数(作成Tシャツ数)を確保すれば比較的安価で作成できる点や、そのシーズンの登録選手の名前を掲載したメモリアル・グッズとしても重宝されるアイテムである点を考慮し、新シーズンは全会員に贈呈することを検討しています。

その他、検討事項

・グッズ・デザインの向上

- デザインのスキルを持った無償で請け負ってくれる有志を募集する

・配布タイミング

- オリジナル・グッズが会員特典の中核となるため入会時期と会員特典の格差を軽減したい
- ☆ 8月迄:メンバーズ・カード、12月迄:Tシャツ。それ以降は入会受付終了or年会費減額

ii 共同購入

スパーズ・オンライン・ショップでの公式グッズの共同購入ですが、シーズン途中から不定期で実施された送料無料キャンペーン(一定金額以上の購入で30ポンドの送料が無料)により、共同購入のメリットが大幅減。当キャンペーンを利用したスパーズ・ジャパン会員からも概ね好評を得ており、新シーズンも同様のキャンペーンが実施されると見込んでいます。よって、既存の「共同購入」を会員特典から外し、キャンペーン開催時の告知をSJのサイト上に掲載し、スパーズ・ジャパン会員のオンライン購入に対するサポートを行うこととします。

但し、別途、シーズン開幕前の新ユニフォームの共同購入は検討しています。

iii 年間MVP

シーズン・ホーム最終戦の日程に併せてホワイトハート・レーンで開催される公式サポーターズクラブ表彰式。ヨーロッパ圏や北米のサポーターズクラブにとっては、シーズンの目玉となるイベントですが、日本ではゴールデン・ウィークの時期と重なり航空券価格は高騰。渡英するとなれば1-2ヶ月前から勤務先への休暇申請等準備が必要になるが、今年のようにシーズン終盤の日程次第で直前にイベントが中止になる等、参加への魅力が強い一方で参加への障壁も高いイベントです。この点をクラブ側にも理解してもらい、式典に不参加となりがちなスパーズ・ジャパンにもメリットがあるような独自のアウォーズを設けてもらうための交渉を行っていきたく考えています。

3. 2009-10シーズンのスパーズ・ジャパンのウェブサイト運用について

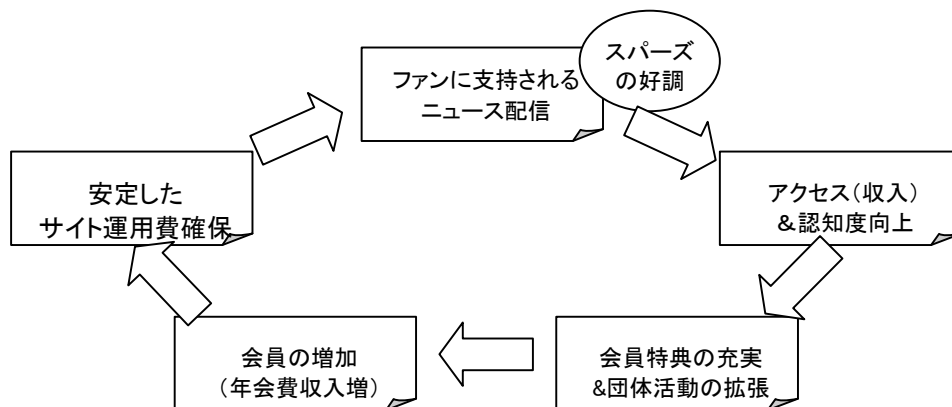
英語を公用語としない国のサポーターズクラブ

プレミアリーグの人気の定着している他の国・地域の多くは、英語を公用語としていますが、日本は絶対的に英語理解レベルが低く、このことはスパーズの普及(認知度向上、ファン意識深化)を目的とする我々団体にとって、大きな活動の障壁となるものでした。

その障壁を取り除くためにスパーズ・ジャパンでは団体設立から間も無くサイトを通じて日本語ニュースの配信を開始。公式サイト配信情報を中心としたニュース構成でスタートし、今では多様な情報を幅広く配信しています。

i アクセス向上と広告収入

スパーズへの関心の高まりと、安定したニュース配信の結果、2009-10シーズンはアクセス数が緩やかに向上を続けました。さらに、注目カードが続いたシーズン終盤には通常時の2倍に迫るアクセスを記録。そのアクセス数の増加が広告収入を生み出しており、主たる団体活動の一つであるウェブサイト運用が、理想的なサイクルを生み出しています。



ii ニュース量の充実と労力削減

昨今のプレミアリーグ人気により、今日では多くの日本語ニュースサイトが翻訳した記事の配信を行っています。それらの動向に注視し、サイト運用の労力削減を念頭に置きながらコンテンツを充実させ、独自性を損なわない形で他ニュースサイトとの共存を図るサイト構造への改良を考えています。

iii SNSの活用

スパーズの認知度向上に伴い、スパーズの話題を仲間と語りたいニーズが高まっています。日本で最大級のSNSミクシィでサッカー関係では最古参の一つに数えられるコミュニティを設置するなどの活動を展開してきました。2009-10シーズンから、話題の拡張性に劇的に優れ、潜在的ファンとの接点を発掘でき、且つ選手本人や現地記者からの情報をリアルタイムで共有できるツイッターを利用した活動の展開を行っています。

iv 携帯サイトの本格始動

ワールドカップ・イヤーとなる今年は、新たに海外フットボールに関心を持つファン層が拡大します。昨年からの試験運用を行っていた携帯電話専用サイトを新シーズンの開幕までに本格始動し、新たなファン層の取り込みと、既存ファンの意識深化を狙っていきます。

* スパーズ・ジャパンは2002年に団体の年に団体の活動をスタートさせて以来、トッテナム・ホットスパーFCの公式サイトに掲載される記事や写真の使用を許可されています。

4. 2009-10シーズンのスパーズ・ジャパンの会計報告について

ボランティア団体の強み

すでに年次総会資料で報告したとおり、スパーズ・ジャパンは約10万円の収支で2009-10シーズンの団体活動を行いました。費用として計上されているものは、根幹となる団体運用に掛かる固定コストとしてクラブの公式サポーターズクラブ管理手数料とウェブサイト運用費でおよそ2万円。一方、収入では会費収入としておよそ5万円を計上しており、財務面では十分に体力のある安定した運営が行われています。

この健全性を維持している最たる要因が、ボランティア・スタッフによる無償の労力提供です。特に、イベント開催やウェブサイト運用において、ボランティア・スタッフの奉仕が無ければ実現できない活動のレベルを維持しています。さらに、スパーズ・ジャパンの活動に賛同を頂いた会員の皆様からの貴重な年会費を使用するにあたって、ウェブサイト運用やその他活動に掛かるコストの削減を徹底し、限られた予算とボランティア・スタッフの献身的な労力で実現できる活動に焦点を置き、同時に団体活動の目的である「日本におけるスパーズの普及」の実現を目指して励んでいます。

収入変化への対応課題

日本における欧州サッカーやプレミアリーグの人気の変動、また、スパーズの成績によって、日本におけるファンベースの変動は大きく、それはスパーズ・ジャパンの活動費の大部分を補填している皆様から年会費収入に大きな影響を与えます。例えば、新シーズンはチャンピオンズリーグ出場によるファン層の拡大が見込んでおりますが、新シーズンのスパーズの成績や今後のプレミアリーグ人気の変化によりファンベースの変化が起こることが想定されます。ファンベースの拡大、縮小、両方に備えた団体活動予算の編成が必要になり、その対応策としてスパーズ・ジャパンは以下のように考えています。

<ファンベースの急激な縮小が見込まれる場合>

- ・前期の繰越金の拡大
- ・会員特典の一部見直し
- ・One Hotspur会員からの会費徴収
- ・年会費の増額

<ファンベースの急激な拡大が見込まれる場合>

- ・長期利用可能な団体活動のための物品の購入(バナー、会員プレゼント用公式グッズ等)
- ・団体活動目的に則った新たな活動資金使途の決定 ⇒委員会の意思決定参画
- ・年会費の減額(但し、One Hotspur会員0円、他2000円は最低ライン)
- ・会員特典の充実

団体活動費の基本原則

団体活動の目的に沿った使途は、大きく以下の3つに分類されます。(「⇒」は具体例)

1. 「日本におけるスパーズの普及」のための使途

⇒ウェブサイト運用

2. 団体活動を支えるスパーズ・ジャパン会員への会員特典
⇒メンバーズ・カード、Tシャツ、公式グッズのプレゼント等
3. クラブや日本以外のサポーターズクラブに対してスパーズ・ジャパンの存在意義を高めるための使途
⇒管理手数料、One Hotspur会員の会費無料（香港観戦ツアー向けバナー作成）

会員費や広告収入が増え、新たな使途を検討する際、「2.の会員特典」の充実に偏ることなく、上記3つのバランスを考えた使途を決定します。スパーズ・ジャパンは日本全土をカバーするサポーターズクラブであり、日本全国の会員が活動を支えています。よって、一部会員にとって参加することが困難な首都圏で開催するイベント(フットサルや観戦イベント)の費用は、原則、そのイベントの参加者の参加費により補填します。

以上を踏まえ、新シーズンの予算について、想定会員数を2パターン設定し報告いたします。

<前提>

会員特典はメンバーズ・カード、Tシャツ、及び(購入済)公式グッズ

昨季のクラブのサポクラ管理費は、One Hotspur25人以上で50ポンド、25人以下で25ポンド

会員の40%がOne Hotspur会員(無料)と想定(前シーズンは約30%)

■予算案■(千円単位で概算)

★想定A: 会員80人

<収入>

Web収入	50,000円
会費収入	96,000円
繰越	11,000円

収入計 156,000円

<支出>

Web費	15,000円
管理費	9,000円
Tシャツ(100枚)	70,000円
会員カード(100枚)	26,000円
郵送費 他	25,000円

支出計 145,000円

+11,000円

★想定B: 会員50人程度

<収入>

Web収入	40,000円
会費収入	60,000円
繰越	11,000円

収入計 111,000円

<支出>

Web費	15,000円
管理費	4,500円
Tシャツ(60枚)	45,000円
会員カード(60枚)	20,500円
郵送費 他	16,000円

支出計 101,000円

+10,000

※ Tシャツ、会員カードは前期利用の業者を使用した場合で、若干余裕を持った見積もり。

※ Web収入は既存PCサイトに加え、新たに携帯サイト開始により前期より1.2~1.4倍増の見込み。

※ Web費は、次期(2011-12シーズン)に3年契約のサーバー代が更新を迎える。

※ 上述の通り8月末時点での会員数、会費収入(One Hotspur会員比)が判明した段階で補正予算を策定。

※ 収入が予想を上回る場合、例年は収支会員プレゼント用公式グッズ購入、バナー作成や封筒購入など、団体活動のための物品購入に充てています。

5. 質疑応答

以下、スパーズ・ジャパン会員の方から受けた質問と、その回答です。

Q.新シーズンの会員申込みはいつから始まりますか？

A.年次総会の資料やスパーズ・ジャパン会員のご意見を頂いて年会費・会員特典を確定し、6月中には開始する予定です。

Q.年会費の金額2000円の裏づけは？

A.団体活動においてどうしても費用が発生する固定コスト(ウェブ運用費、クラブの管理費等)を年会費で十分に充当できる金額を設定しています。会計報告でも確認いただける通り、十分に団体活動の固定コストを超える会費収入が得られており、新シーズンも値上げは必要ないと考えます。

一方で、会員数が増えるリスクがあるため、年会費をさらに安くすることを現時点では考えておりません。

Q.年会費無料のOne Hotspur会員が増えるとSJの活動が縮退するのでは？

A.クラブに対してSJの存在意義を強めるためにOne Hotspur会員を増やすことを団体活動の一つの柱と据えています。

少しずつではありますがクラブへの最も直接的なサポートであるOne Hotspur会員の数が日本でも増えており、それにはSJの「年会費無料」が貢献していると考えます。

年次総会で、「One Hotspur会員から年会費を徴収しても構わない」とOne Hotspur会員である複数の参加者から意見を頂戴しました。今後、団体活動の拡大を図るべく明確な予算使途が決まった場合、または年会費会員の数が落ち込んだ場合において、One Hotspur会員から年会費を頂くこともあると思います。

しかし、新シーズンにおいては現行のOne Hotspur会員の年会費無料を継続します。

Q.新シーズンの会員特典は前シーズンと同じですか？

A.前シーズンの会員特典の検証を行い、以下の通りに会員特典を調整する予定です。会員特典が決定後、SJ入会案内のページに掲載し、入会受付を開始します。

昨シーズンの各会員特典へのコメント

- ・チケットの優先販売権(要One Hotspur Membership)
⇒(未定)クラブから新シーズンの公式サポーターズクラブ規約が届き次第、詳細発表。
- ・公式グッズの共同購入
⇒(見直し)送料無料キャンペーンの利用を推奨し、購入方法・手順についてSJ会員をサポートする
- ・ホーム最終戦のホワイトハート・レーンでの各賞授賞式参加ツアー
⇒(見直し)年間MVPまたはSJの特別アワードを設けて贈呈するといった実のあるメリットを検討
- ・スパーズ・ジャパンのメンバーズ・カード(7月末までに入会済みの方を対象。8月中旬送付予定)
⇒(継続)
- ・スパーズ・ジャパンのクラブ認定グッズの優先購入権
⇒(継続)但し、希望者購入だったオリジナルTシャツをSJ会員の特典に変更
- ・スパーズ・ジャパンのイベント優先参加権
⇒(継続)フットサル、観戦イベント、年次総会等
- ・現地観戦における情報サポートなどにも全面的に対応
⇒(継続)オンライン・ショップの購入手順のサポートを新たに含む。但し、会員以外の方への個別対応は縮小し、説明ページを設置することを検討
- ・スパーズ・ジャパンのオリジナルTシャツ(11月末までに入会済みの方を対象。12月中旬に送付予定)
⇒(新規)
- ・スパーズ・ジャパン運営委員会への参画権
⇒(新規)
- ・新ユニフォームの共同購入
⇒(新規)

新シーズンの会員特典(まとめ)

- ・スパーズ・ジャパンのメンバーズ・カード

- 7月末までに入会済みの方を対象。8月中旬送付予定
- ・**NEW**スパース・ジャパンのオリジナルTシャツ
 - 11月末までに入会済みの方を対象。12月中旬に送付予定
- ・スパース・ジャパンのイベント優先参加権
 - 観戦イベント、年次総会、フットサル等
- ・**NEW**新ユニフォームの共同購入
- ・**NEW**スパース・ジャパン運営委員会への参加権(※)
- ・スパース・ジャパンのクラブ認定グッズの優先購入権
- ・現地観戦のための基本情報やオンライン・ショップでの購入手順などを全面的にサポート
- ・リーグ・ホーム最終戦のホワイトハート・レーンで開催される表彰式の参加権利

<予定>

- ・チケットの優先販売権(要One Hotspur Membership)
(クラブから新シーズンの公式サポーターズクラブ規約が届き次第、詳細発表)

<検討中>

年間MVPまたはSJの特別アワードを設けて贈呈し、それに対するスパース・ジャパン会員のメリットを引き出す。

※「スパース・ジャパン運営委員会」については別途、資料を用いて説明します。

Q.スパース・ジャパンに掲載されたニュース画像は個人ブログに使用可能ですか？

A.スパース・ジャパンは公式サポーターズクラブとしてトッテナム・ホットスパーFC(以下、クラブ)からの許可を得て画像のサイト上で使用しています。クラブのサイトの記事、画像等のコピーライトはクラブ及びアクション・イメージ社が所持していますので、使用については直接クラブにお問い合わせください。なお、スパース・ジャパンのイベント(観戦会、フットサル等)写真の使用については、個別にお問い合わせください。

Q.スパース・ジャパンの活動(特にホームページ)に協力したいのですが、英語が苦手で、インターネットの専門的な知識もありません。何か、お手伝いできますか？

A.専門的な知識や英語の能力などを持たない方でも協力して頂きたいことがたくさんあります。簡単な自己紹介を添えたメールを送ってください。